

## 令和5年度 高槻市介護保険事業者協議会 事業計画

### 本会の目的 (規約 第2条)

本会は、介護を必要とする利用者がその人らしく尊厳を持って生きていくことができるよう介護サービス事業者が課題を共有し、連携して介護サービスの質の向上を図るとともに、より良いサービスを提供し、介護保険制度の円滑、適正な実施、充実をもって、市民の福祉の向上に資することを目的とする。

### 令和5年度 基本方針

令和5年度、ようやく国としての新型コロナウイルスの位置付けが変更されることを受け、当協議会としても、活動を少しずつ開いて参ります。ただ、コロナ禍で傷ついたこの介護業界が一朝一夕で元に戻ることがないこと、介護人材の確保がこれまで以上に難しくなっていること等を鑑み、慎重に進めていきます。その意味においても、貴重な介護人材を守るための活動や介護人材確保のための活動に力を入れます。また、大切なお利用者様を守るため、引き続き高槻警察との連携を図って参ります。

尚、事務局が高槻市健康福祉部長寿介護課に移管されることに伴い、事務の簡素化等を進めるとともに、新たに開設されるホームページを有効活用し、会員相互の情報共有をより進めることといたします。

### 令和5年度 目標

1. 介護人材確保の取り組みを進めるために、行政担当課と共同で介護人材確保のためのイベントを開催いたします。また、大切な介護人材を守るためのカスタマーハラスメント対策研修を行います。更に、未来の介護人材確保のために、小中学校での出前授業等についても取り組みます。
2. 防災対策の活動や協議会としての防災備品を備えるなど、協議会内の災害対応力を更に向上させていきます。
3. 大切なお利用者様を守るために、高槻警察と連携し、特殊詐欺防止等に協力します。
4. 開設したホームページを活用して情報発信に努め、新規会員の確保、会員相互の情報共有等に取り組みます。
5. 協議会加盟事業者のケアの質の向上等のために、協議会内での研修を進めます。
6. 地域包括ケアシステムの構築の推進のために、医療関係団体、及び地域関係団体等との連携強化と協働について検討・推進してまいります。

令和5年度 役員名簿

役職名	氏名	法人名	所属部会
会長	北元 正志	社会福祉法人 真昌会	
副会長	鈴木 みどり	株式会社 トップコーポレーション	
会計	川北 哲也	社会福祉法人 松輪会	
理事	坂本 貴政	社会医療法人 仙養会	居宅介護支援部会部会長
理事	石神 洋一	特定非営利活動法人 たかつき	在宅サービス部会部会長
理事	巽 史郎	社会医療法人 愛仁会	施設サービス部会部会長
理事	池田 浩之	社会福祉法人 高志会	地域包括ケアシステム部会部会長
理事	河本 剛志	社会医療法人 祐生会	認知症支援部会部会長
理事	羽田 浩朗	社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団	介護人材育成部会部会長
理事	小笠 孝治	株式会社ケンモク	防災対策部会部会長
監査	向井 学	有限会社 アクティ	
監査	上田 拓	社会福祉法人 恭生会	

事業計画

	協議会活動	内 容
4月	定例理事会	ホームページの開設について 総会について 令和4年度 事業報告(案)について 令和5年度 事業計画(案)について
5月	定例理事会	総会について 介護人材イベントについて
6月	定例理事会 総会 研修会	介護人材イベントについて カスハラ対策について
8月	定例理事会 介護人材イベント	未定
10月	定例理事会	介護等実践発表会について
11月	介護等実践発表会	
12月	定例理事会	未定
1月	新年交流会	
2月	定例理事会	総会について 役員改選について

定例理事会 : 偶数月 + 5月 第3火曜日 14:30~

定例報告事項: 各部会活動報告

令和5年度 居宅介護支援部会 事業計画

令和5年度 居宅介護支援部会 基本方針

コロナ明け、部会活動（オンライン継続か対面かハイブリッドか等）をどうするか周囲の状況見ながら判断し部会員が参加しやすい環境を整備。引き続きケアマネ不足という地域課題にどう向き合うか検討する。

令和5年度 居宅介護支援部会 目標

1. 地域の多職種連携ネットワークを構築する。
2. ケアマネジメントの質の向上を目的とした研修を企画、地域全体の底上げを図る。

部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	坂本 貴政	社会医療法人 仙養会	
副部会長	福田 裕一	株式会社テイクコーポレーション	
副部会長	古川 幸代	社会福祉法人 恭生会	
幹事	山本 昌史	アイケアライフ 株式会社	
幹事	原地 由里子	社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団	
幹事	志場 幸子	社会医療法人 愛仁会	
幹事	徳留 規子	社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団	
幹事	辻 真起子	社会福祉法人 高志会	
幹事	小林 多香子	株式会社トップコーポレーション	
幹事	徳田 智浩	株式会社トップコーポレーション	

事業計画

	居宅介護支援部会活動	内容
7月	居宅部会	適切なケアマネジメント
11月	居宅部会	ICT 推進
2月	居宅部会	医療と介護の連携

\* 社会状況を見ながら計画修正検討

令和5年度 在宅サービス部会 事業計画

令和5年度 在宅サービス部会 基本方針

事業者間の情報の共有や交換等、部会員の横のつながりを強くする。また、他の部会との交流や情報・課題の共有を図る。

令和5年度 在宅サービス部会 目標

1. 部会員で共有された情報や課題、ノウハウを部会でまとめ、サービスの質の向上を図る。
2. 行政や他の部会との交流をはかり、課題検討をする。
3. 多業種の事業所が所属している部会の特色を生かし、地域包括ケアシステムの構築の推進に寄与する。

部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	石神 洋一	特定非営利活動法人たかつき	
副部会長	未定		
幹事	向井 学	有限会社 アクティ	
幹事	野口 直美	社会福祉法人 高槻ライフケア協会	
幹事	森谷 和代	株式会社 テイクコーポレーション	
幹事	浅井 智子	株式会社 トップケア	
幹事	荒木 直人	株式会社 トップコーポレーション	
幹事	杉谷 慎二	アイケアライフ 株式会社	
幹事	天野 友香	株式会社 takky	
幹事	那谷 彰英	株式会社 ケンモク	

令和5年度事業計画

これまで幹事会の開催は不定期としていたが、今年度から幹事会を偶数月の第二木曜日に開催することに決定した。より計画的に部会研修の開催ができるようになると思う。

	在宅サービス部会活動	部会活動内容
4月	・幹事会開催	
6月	・幹事会開催	
7月	・部会開催	外部講師による実地指導対策(案)
8月	・幹事会開催	
10月	・幹事会開催	
	・部会開催	施設見学ツアー
12月	・幹事会開催	
2月	・幹事会開催	
	・部会開催	福祉用具の研修

その他の活動

大規模な懇親会を開催したい。

## 令和5年度 施設サービス部会 事業計画

### 令和5年度 施設サービス部会 基本方針

会員の介護サービスの知識・技術の向上を図り、適切な利用者支援につなげ、介護サービスの質の向上に寄与する。

### 令和5年度 施設サービス部会 目標

1. 部会の定期開催と参加率向上
2. 施設見学会を開催するなど施設間連携を深め、お互いにとってメリットのある関係を構築していく
3. 施設ならではの共通課題の情報共有を進め、類似課題がスムーズに解決できる道筋を立てていく
4. 研修・勉強会等を開催し、より良い施設運営に寄与する

### 部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	巽 史郎	(社医) 愛仁会	
副部会長	桑原 広志	(医) 杏仁会	
幹事	長谷川 健二	(株) 光真	
幹事	早川 勝	(医) 健和会	
幹事	山神 真史	(医) 東和会	
幹事	井谷 尚利	(福) 恭生会	
幹事	瀬古 雅子	(福) 聖ヨハネ学園	

### 事業計画

	施設サービス部会活動	内容
6月	部会・幹事会	Covid-19 5 類への移行を踏まえた本会の活動計画
9月	部会・幹事会	施設紹介・見学再開の検討・実施
11月	部会・幹事会	勉強会等の検討・実施
2月	部会・幹事会	研修、次年度事業計画等について

\*コロナ感染状況を勘案し、引き続き web を活用した事業を検討する。

令和5年度 地域包括ケアシステム部会 事業計画

令和5年度 地域包括ケアシステム部会 基本方針

with コロナにおける地域包括ケアシステムの視点を踏まえ、関連機関との連携と症例検討や情報共有の強化を図り、介護サービスの質の向上に寄与する。

令和5年度 地域包括ケアシステム部会 目標

地域包括ケアシステムの構築に向けた研修の企画と実施。

部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	池田 浩之	社会福祉法人 高志会	
副部会長	田岡 勝洋	社会医療法人 愛仁会	
副部会長	進藤 利香	社会福祉法人 聖ヨハネ学園	
幹事	中西 真一	社会医療法人 祐生会	
幹事	福井 梨恵	社会福祉法人 恭生会	
幹事	向井 豊	(有) アクティ	
幹事	竹中 敬	医療法人 杏仁会	
幹事	杉本 和彦	(有) 心友	
幹事	鈴木 みどり	(株) トップコーポレーション	
幹事	大島 理絵	社会医療法人 愛仁会	

令和5年度事業計画

	地域包括ケアシステム部会活動	部会活動内容
5月	・幹事会	令和5年度組織体制確認 総会にむけて
7月	・幹事会	次月部会について
8月	・部会	部会開催 研修
9月	・幹事会	次回部会について
10月	・幹事会	次回部会について
11月	・部会	部会開催 研修
2月	・幹事会	今年度事業報告について 来年度事業計画について

## 令和5年度 認知症支援部会 事業計画

### 令和5年度 認知症支援部会 基本方針

当事者の暮らしを支えるために必要な知識・技術の向上を図り、その人らしい生活を継続していくためのケアの質の向上に寄与する。

### 令和5年度 認知症支援部会 目標

1. 認知症ケアの質の向上に資する研修の企画と実施。
2. 認知症の方々と共にできるイベントの企画と実施。

### 部会役員名簿

役職名	氏 名	法 人 名	備考
部会長	河本 剛志	社会医療法人 祐生会	
副部会長	大島 理絵	社会医療法人 愛仁会	
副部会長	市丸 直樹	特定医療法人 健和会	
幹 事	福井 梨恵	社会福祉法人 恭生会	
幹 事	椿 和美	社会福祉法人 恭生会	
幹 事	高橋 由輔	医療法人 杏仁会	
幹 事	藤井 さちみ	クレドール株式会社	
幹 事	濱岡 由加	社会福祉法人 聖ヨハネ学園	

### 事業計画

	認知症支援部会活動	内 容
6月	幹事会	イベント活動について検討
7月	幹事会	イベント活動について打ち合わせ
8月	幹事会	イベント活動について打ち合わせ
9月	幹事会	イベント活動について打ち合わせ
10月	部 会	イベント活動 高齢者の方々と一緒に活動する
11月	幹事会	イベント活動についての振り返り 認知症研修についての打ち合わせ
1月	幹事会	認知症研修についての打ち合わせ
2月	部 会	研修会 認知症研修
3月	幹事会	今年度の振り返り 来年度事業計画



## 令和5年度 介護人材育成部会 事業計画

### 令和5年度 介護人材育成部会 基本方針

今年度はウィズコロナ、ポストコロナを見据えて、会員間の活発なコミュニケーションを図ることを部会活動の基本として、介護保険事業者が提供するサービスの質の向上に寄与できる取り組みや、行政機関と協議、連携を行い、介護人材確保の課題解決へ向けた取り組みを行います。更には、協議会のホームページを活用して、その取り組みを広く市民へ情報発信していきます。

### 令和5年度 介護人材育成部会 目標

1. 各部会と連携しながら当部会ならではの研修を企画し、介護サービスの質を高めます。
2. 行政機関と連携しながら介護人材を確保するための協議及び取り組みを行います。  
更には、小中学校で出前授業等を開催し、介護の魅力と未来の介護人材のために力を注ぎます。
3. 「介護の仕事」の魅力を市民に広く伝える活動を通じて、高槻市の福祉の向上を図ります。

### 部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	羽田 浩朗	社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団	
副部会長	福井 梨恵	社会福祉法人 恭生会	
副部会長	小林 信三	株式会社 サントラスト	
幹事	川口 裕子	医療法人 杏仁会	
幹事	中村 光久	特定非営利活動法人 高槻まごころ	
幹事	土井 景子	社会福祉法人 高槻ライフケア協会	
幹事	宮田 律子	学校法人 大阪医科薬科大学	
幹事	吉田 昌志	医療法人 清仁会	
幹事	寄能 房代	医療法人 中村歯科	

令和5年度 事業計画

	介護人材育成部会活動	内 容
4月		事業報告と事業計画について協議
5月	専門部会会議	部会主催の研修計画を検討立案 「アウトリーチ型研修」助成の申請準備
6月		
7月	専門部会会議	研修の調整、準備 共催事業の準備 研究発表会の準備
8月	高槻市との共催事業 (事業内容は未定)	
9月	専門部会会議	研修の調整、準備 研究発表会の準備
10月	研修の実施 (研修内容は未定)	研修の実施
11月	専門部会会議 高槻市介護等研究発表会の 実施	研究発表会の準備 研究発表会の実施
12月		
1月	専門部会会議	「アウトリーチ型研修」の実施報告まとめ 実践報告会の発表内容検討
2月	実践報告会	実践報告会に参加
3月	専門部会会議	事業のまとめと来年度の事業計画について

部会は原則2ヶ月に1回開催することとし、必要に応じて随時会議を開催します。

研修については、介護人材育成部会が主催する研修のみ記載し、他部会が主催する研修は記載していません。

※その他

今年度も大阪府社会福祉協議会の大阪民間社会福祉事業振興基金助成事業の「アウトリーチ型研修」の助成申請をする予定です。

また、平成28年度から4年連続で開催した「たかつき介護のお仕事フェスタ」については、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえて、協議会としてフェスタ開催の必要性を適宜検討していきます。開催する場合は、少しでも協議会の負担を減らすような方策を検討します。

令和3年度から実施しているワークサポートたかつきにおける「ミニ面接会」については、今年度も引き続き毎週水曜日午後2時～4時に実施します。

## 令和5年度 防災対策部会 事業計画

### 令和5年度 防災対策部会 基本方針

引き続き、災害に対する自助の啓発を行っていきます。また、各事業所に作成が義務化されたBCP（事業継続計画）策定について研修や情報提供を通じ応援していきたいと考えています。

### 令和5年度 防災対策部会 目標

1. 研修や様々な取り組みによる災害に対する自助の啓発。
2. 各事業所のBCP作成時の応援となる情報提供を行う。または一緒に考える場の提供。
3. 部会活動の広がりとともに、部会員の拡大を行う。
4. 当協議会ホームページの防災対策コーナーや季刊誌『空木』の防災コーナーにおいて情報発信をする。
5. 他市事業者や外部団体・組織などとの連携を強化する。

### 部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	小笠 孝治	株式会社 ケンモク	
副部会長	坂本 鉄併	株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション	
幹事	林 佳美	学校法人 大阪医科薬科大学	
幹事	宮田 律子	学校法人 大阪医科薬科大学	
幹事	上戸 照美	社会医療法人 仙養会	
幹事	鈴木 みどり	株式会社 トップコーポレーション	
幹事	中谷 翔太	社会福祉法人 恭生会	
幹事	田中 章徳	株式会社 takky	

### 事業計画

	防災対策部会活動	内容
7~8月	研修	BCP・机上訓練などを検討
12月	協議会研究発表会参加	BCP事例紹介
3月	研修	未定

部会・幹事会を毎月開催

令和5年度 収支予算書 (案)

収入総額 : 2,012,753 円  
 支出総額 : 2,012,753 円

<収入の部>

項目	令和4年度予算額	令和5年度予算額	差引額	備考
会費収入	492,000	487,000	-5,000	令和5年4月会員115法人(44×3,000円 71×5,000円)
事業収入	0	0	0	
雑収入	12	13	1	預金利息
助成金・補助金	0	0	0	
前年度繰越金	1,235,590	1,525,740	290,150	
合計	1,727,602	2,012,753	285,151	

<支出の部>

項目	令和4年度予算額	令和5年度予算額	差引額	備考
活動費	719,602	720,000	398	研修、各部会活動費等
広報費	80,000	80,000	0	季刊誌発行
事務費	100,000	120,000	20,000	印刷、Web会議システム、ホームページ維持費等
会議費	41,000	41,000	0	会議室賃借料他
消耗品費	40,000	40,000	0	封筒等
通信費	80,000	80,000	0	郵送代、切手代他
災害対策費	50,000	100,000	50,000	災害対策費等
雑費	17,000	17,000	0	
ホームページ開設費	500,000	506,000	6,000	
予備費	100,000	308,753	208,753	
助成金・補助金事業	0	0	0	
合計	1,727,602	2,012,753	285,151	

令和5年度都会別予算 支出明細

<支出の部>

項目	令和4年度予算額	令和5年度予算額 ①～⑧	全体 ①	居宅介護支援部会 ②	在宅サービス部会 ③	施設サービス部会 ④	地域包括ケア システム部会 ⑤	認知症支援部会 ⑥	介護人材育成部会 ⑦	防災対策部会 ⑧
活動費	719,602	720,000	450,000	60,000	60,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
広報費	80,000	80,000	80,000							
事務費	100,000	120,000	120,000							
会議費	41,000	41,000	20,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
消耗品費	40,000	40,000	40,000	0	0	0	0	0	0	0
通信費	80,000	80,000	80,000	0	0	0	0	0	0	0
災害対策費	50,000	100,000	100,000							
雑費	17,000	17,000	3,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
ホームページ開設費	500,000	506,000	506,000							
予備費	100,000	308,753	308,753							
助成金・補助金事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,727,602	2,012,753	1,707,753	65,000	65,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000